



2020年6月11日

2021年4月・新設
政治学研究科・政治学専攻「グローバル公共政策コース」新設
に関するご報告

早稲田大学・公共経営稲門会 会長
合同会社 政策支援 代表 細川甚孝 様

拝啓、時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

早稲田大学・政治学研究科では、2020年度9月入学者を以て、専門職大学院としての「公共経営大学院」、そして、「公共経営専攻」の15年間の歴史に幕を引き、新たに、2021年4月から、政治学専攻・「グローバル公共政策コース」を設置することに致しましたので、まずは、公共経営稲門会の会長でいらっしゃいます細川甚孝様に、ご連絡をさせて頂きます。本来であれば、細川様をはじめとする、稲門会の皆様に、直接お目にかかってご報告すべきところではありますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、集会を自粛する必要があることから、このような形でのご報告になり、大変申し訳ございません。

早稲田大学では、研究者と実務家との協働により、「理論と実証、そして、実務との架橋」という理念の下、2003年4月に日本で最初の公共政策系専門職大学院「公共経営大学院」を開設しました。設立から15年を経て、公共政策の現場では、科学的根拠に基づく政策立案や評価が重要視され、今まで以上に学際的・国際的な視座に立った高度な分析能力を有する研究者・実務家の養成が求められています。こうした時代の要請に対応するため、新設コースでは、公共経営大学院と公共経営専攻の理念とこれまでに培われた経験を基盤としつつ、さらに、政治経済学術院全体の「Philosophy, Politics and Economics (PPE)」という学問理念の下、これまで以上に、「公平と効率とのバランスと持続可能性」を重視した教育を展開します。学際的で高度な解析能力を育成可能なカリキュラム構成に改編し、広く留学生を受け入れることで、高度な専門性と国際性を有し、科学的根拠に基づく政策立案・評価を行うことの出来る人材育成に取り組んでまいり所存でございます。今後、2021年4月には「日本語・2年制」、2022年4月には「日本語・1年制」、2023年4月には博士後期課程、さらには、2023年9月には「英語・2年制」の開設を予定しております。

「グローバル公共政策コース」の開設に当たり、細川様をはじめ、稲門会の皆様には今後とも引き続き、ご協力を賜れますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、細川様と稲門会の皆様のご健康をお祈り申し上げます。

敬具

早稲田大学・政治学研究科長
田中 孝彦
公共経営・教務主任
野口 晴子